

超短焦点プロジェクター専用
フレーム張込スクリーン DNUS

取扱説明書



株式会社 ケイ アイ シー

注意事項

- ・本書に従って製品組立を実施してください。本書の組立手順に沿わない組立に起因する事故、損傷及び機能不全については製品保証対象とならず、メーカー及び販売元は一切の責任を負いかねます。
- ・本製品は必ず2人で組立作業を行ってください。
- ・スクリーン生地をねじったり、捻ったりしないようにお取扱ください。生地のねじれ、捻りの跡は生地表面に残ります。
- ・生地の張込時には保護シートを使用してください。
- ・スクリーン生地に傷を付けたり、生地表面の光学レンズを損傷しないようにハサミ・カッター等の鋭利なものは生地に近づけないようにしてください。
- ・製品組立時には部品の鋭利な部分の取扱いにご注意ください。
また、小さなお子様が製品に近づかないようにお気を付けください。
- ・スクリーン生地表面の埃、指紋などを除去する際は、羽毛ダスターまたは水で湿らせた柔らかい布を使用し、レンズ方向（水平）に沿って軽く拭き取ってください。拭取り時、生地表面を強く押さないでください。

No.	パーツリスト	数量	概観	No.	パーツリスト	数量	概観
1	【アルミフレーム（横）】	2		12	【バーナット（4穴用）】	4	
2	【アルミフレーム（縦）】	2		13	【上部取付金具（スクリーン側）】	2	
3	【化粧フレーム（横）】	2		14	【下部取付金具（スクリーン側）】	2	
4	【化粧フレーム（縦）】	2		15	【上部取付金具（壁面側）】	2	
5	【サポートバー 】	1		16	【下部取付金具（壁面側）】	2	
6	【スクリーン生地】	1		17	【トラスネジ（M6×8）】 （スクリーン側取付金具用）	8	
7	【スプリング】	ラベル参照		18	【トラスネジ（M4×8）】 （下部取付金具固定用）	2	
8	【バーナット（6穴用）】	2		19	【M4六角レンチ】	1	
9	【サポートバー固定金具】	2		20	【フック棒】	2	
10	【ボタンボルト（M6×8）】 （アルミフレーム組立用）	44 （うち予備6）		21	【養生シート】	1	
11	【ボタンボルト（M6×6）】 （化粧フレーム固定用）	10 （うち予備2）		22	【手袋】	2	

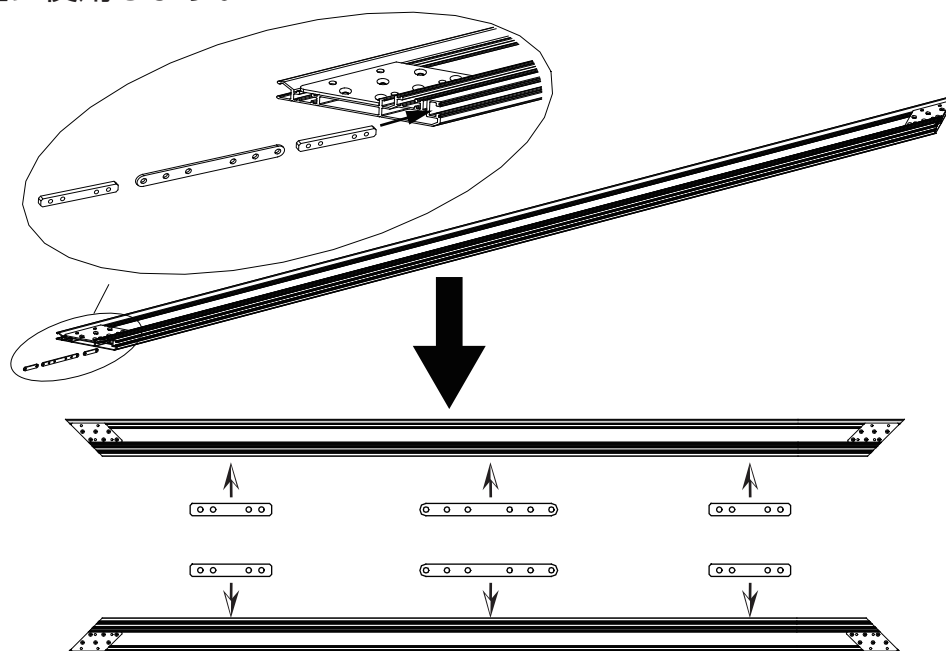
組立手順

1. アルミフレーム組立

1-1

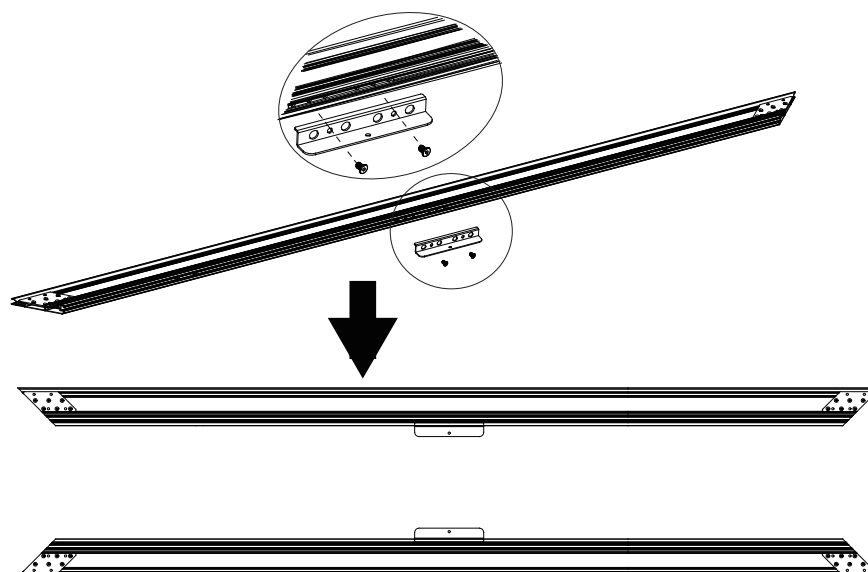
上下【①アルミフレーム(横)】の内側レールに【⑫バーナット(4穴用)】2個と【⑧バーナット(6穴用)】1個を入れます。
(下部図の配置になるようにお願いします)

※ここで用意するバーナットは⑤サポートバー及び⑬、⑭壁面取付金具の固定に使用します。



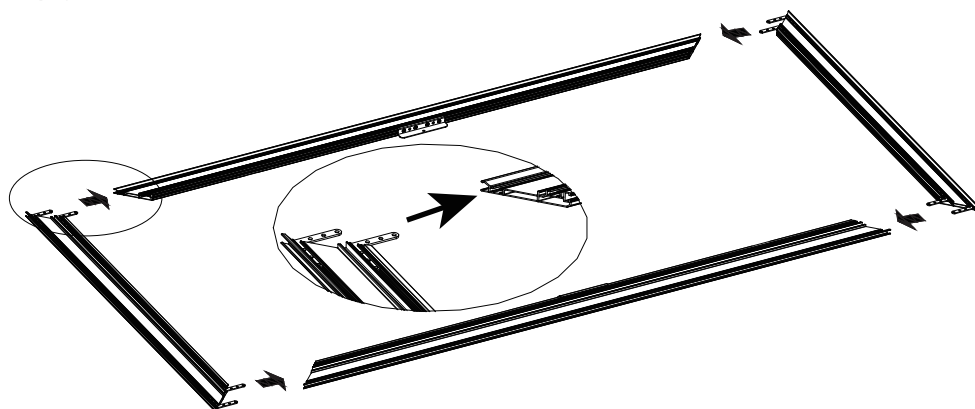
1-2

【⑧バーナット(6穴用)】に【⑩ボタンボルト (M6×8)】を使用して【⑨サポートバー固定金具】を取り付けます。

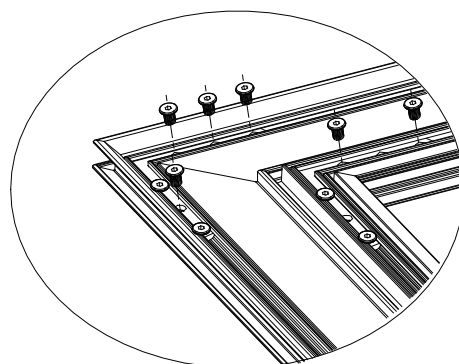


1-3

【②アルミフレーム(縦)】の両端に取付けられたコーナーブラケットを
【①アルミフレーム(横)】に差し込んでください。
四隅が直角になっていることを確認して【⑩ボタンボルト (M6×8) 】
を使用して固定します。

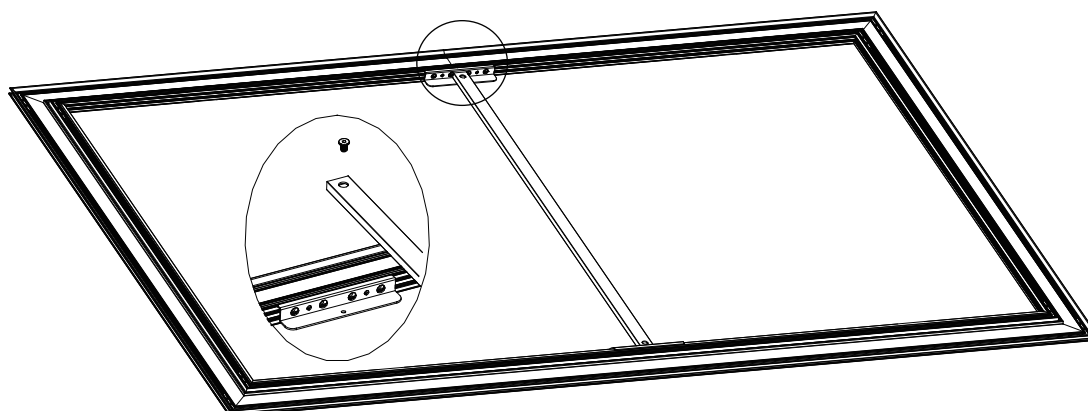


右図のように内側のL型金具の
中央のネジ穴は使用しません。
※後ほど化粧フレームを取付ける
際に使用します。



1-4

1-2で取付けた【⑨サポートバー固定金具】に【⑤サポートバー】
を【⑩ボタンボルト (M6×8) 】を使用して固定します。



2. スクリーンフィルムの張込

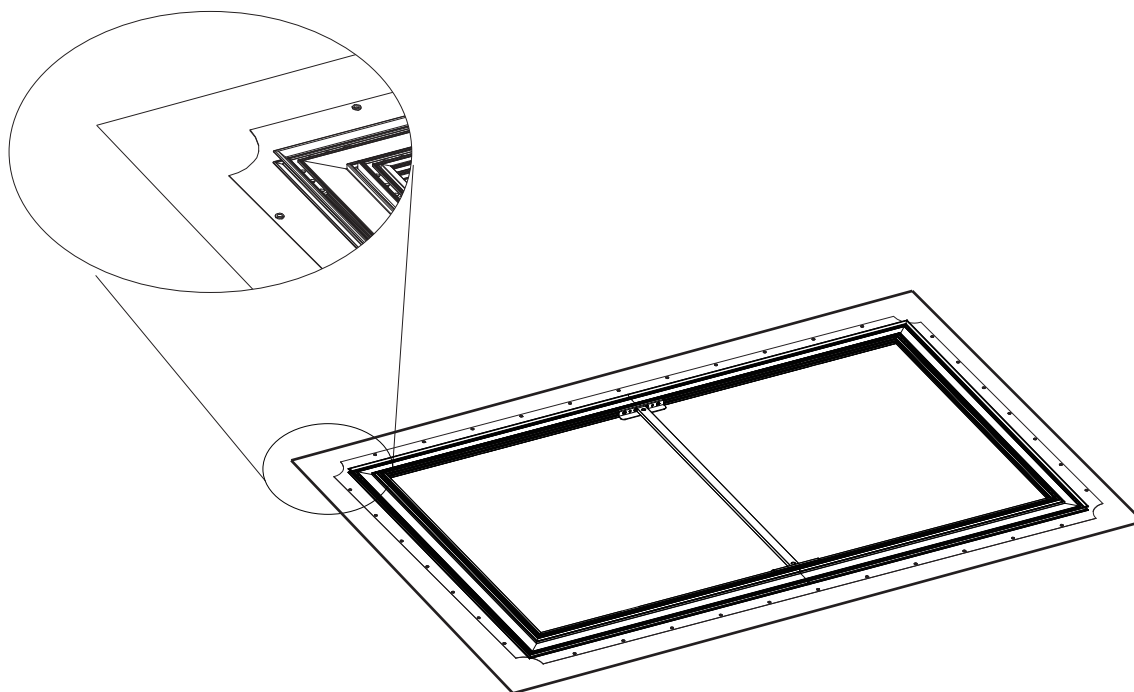
注意：

- ・スクリーンフィルムを扱う際は常に幕面の平面性を保ってください。
- ・平面性を保つためにスクリーンフィルムは折り目がつかないように慎重に広げてください。
- ・スクリーンフィルムの下に障害物がないことを確認してください。また、スクリーンフィルムの上に物を置かないでください。
- ・スクリーンフィルムを扱う作業中は手袋の着用を推奨します。

2-1

上記の注意事項に気を付けながら平らな床面に【⑥スクリーン生地】を【㉑養生シート】と一緒に広げてください。この時スクリーンの投影面が下向きになっていることを確認してください。

広げた【⑥スクリーン生地】の上に先ほど組立てたアルミフレームを静かに置きます。アルミフレームはボルトが見える面を上、スクリーン生地の四方の長さが均等になるように配置してください。

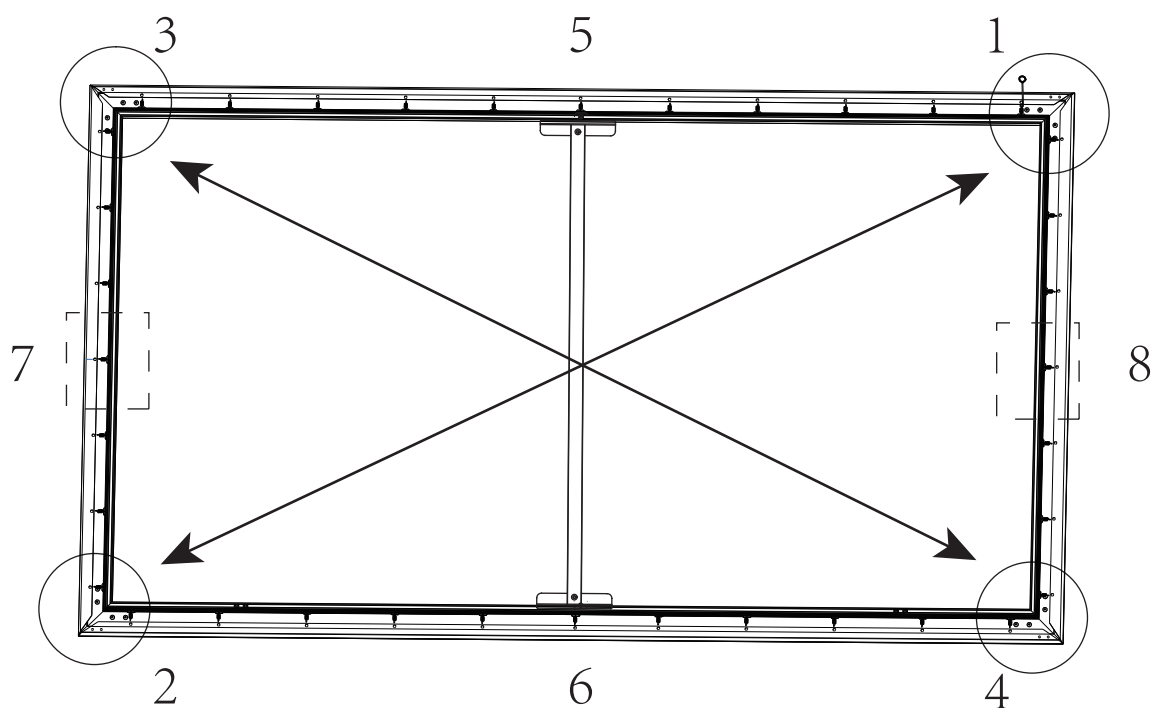
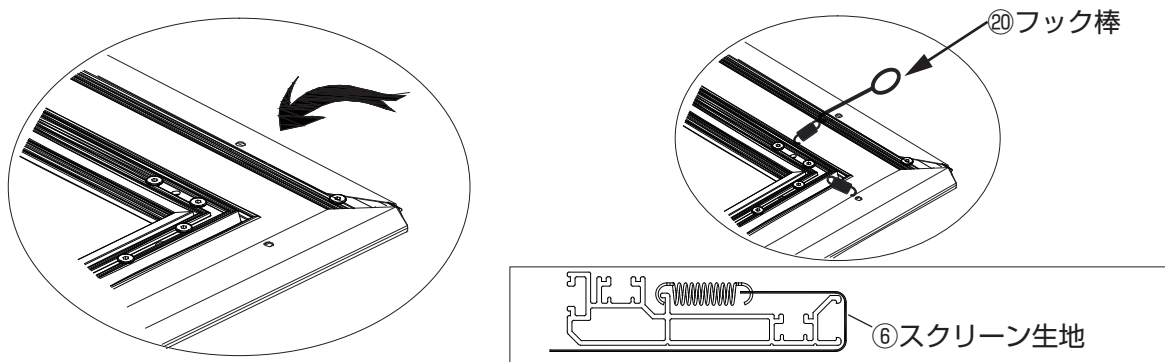


2-2

【⑥スクリーン生地】の端をアルミフレームに巻き付けるように折り返します。下図に記した順番に各フレーム中央付近から【⑦スプリング】を引掛けます。

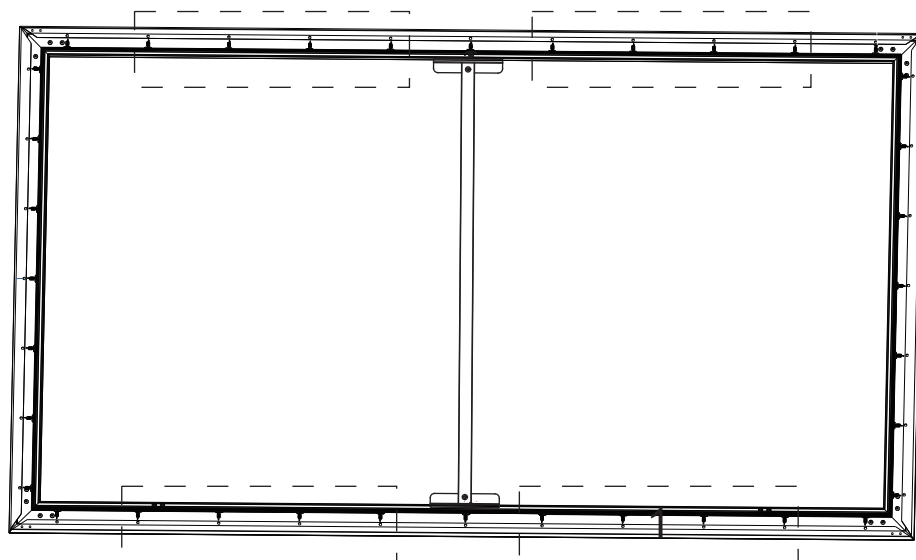
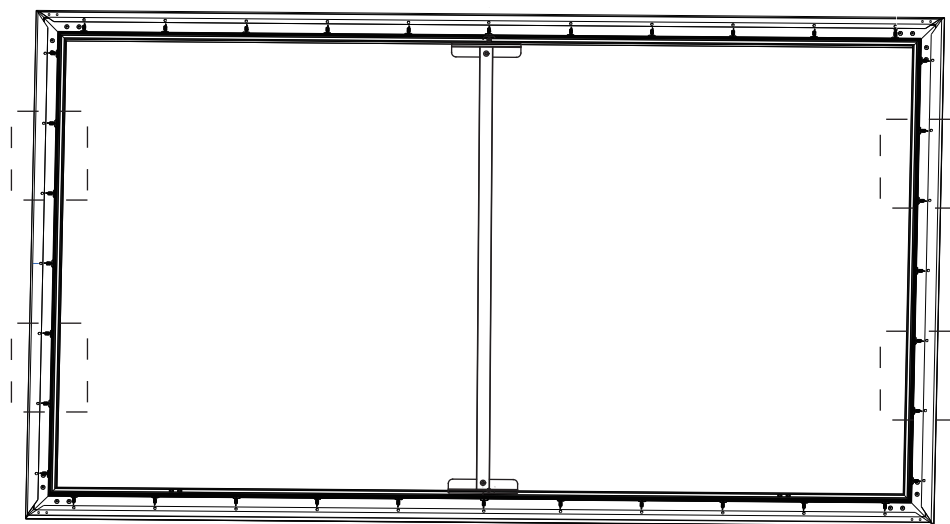
【⑦スプリング】は両端でフックのサイズが違っており、小さいほうのフックをアルミフレームの溝、大きいほうのフックをスクリーン生地のハトメに引掛けます。

【⑦スプリング】を引掛ける際は付属の【⑳フック棒】をお使いください。



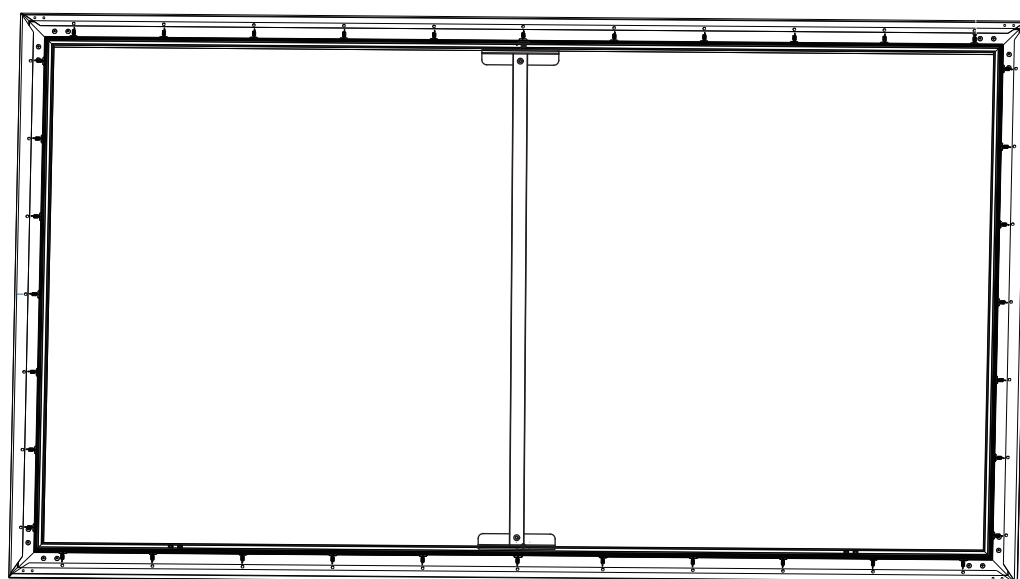
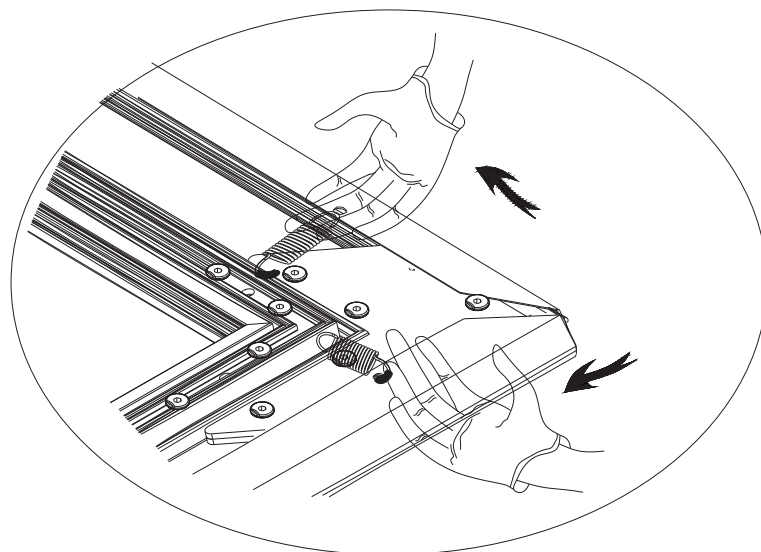
2-3

均等にスクリーン生地が引掛けられたことを確認し、すべてのハトメに【⑦スプリング】を引掛けていきます。



2-4

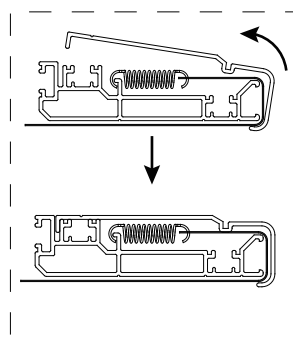
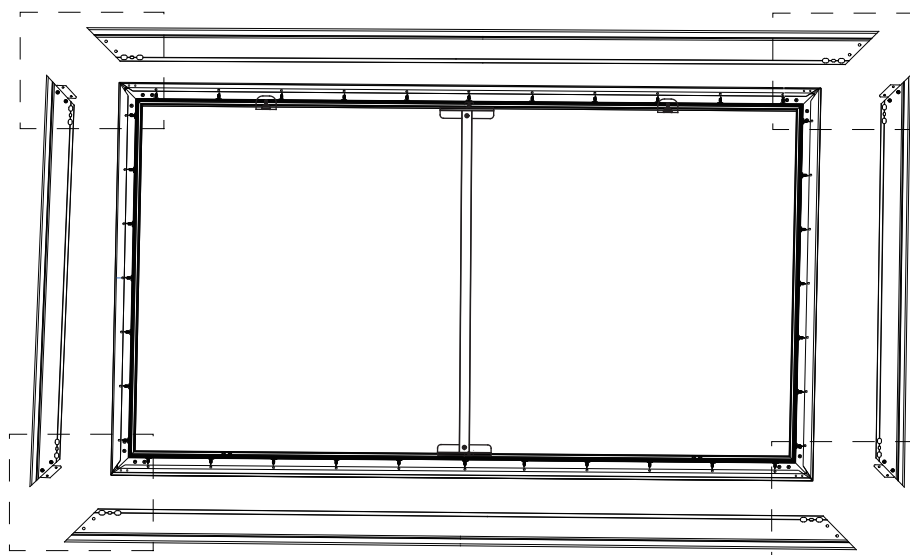
すべてのハトメに【⑦スプリング】を引掛けることができればフレームの周囲にできたシワを伸ばすように調整をしてください。
このとき、必ず【⑫手袋】を装着した状態で作業を行ってください。



3. 化粧フレームの取付

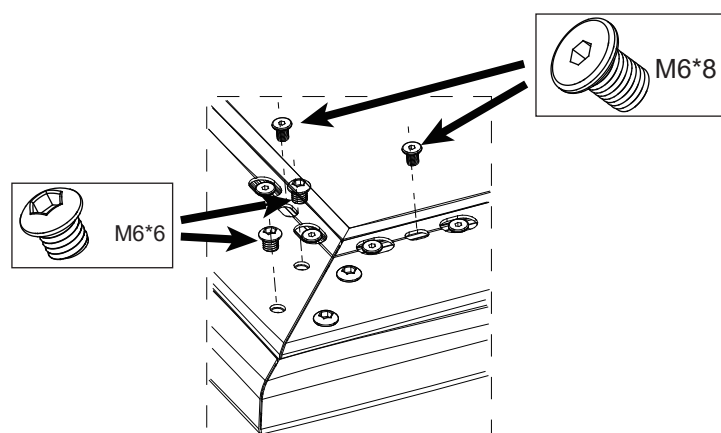
3-1

次に【⑥スクリーン生地】が取付けられたアルミフレームに【③化粧フレーム（横）】、【④化粧フレーム（縦）】を取り付けてください。



化粧フレームは短い部分がスクリーンの投影面に被るように取り付けます。

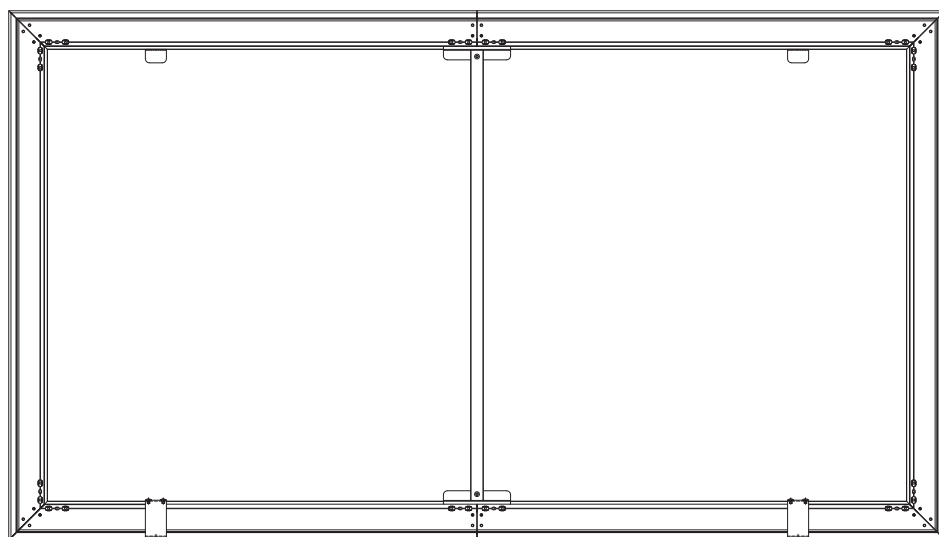
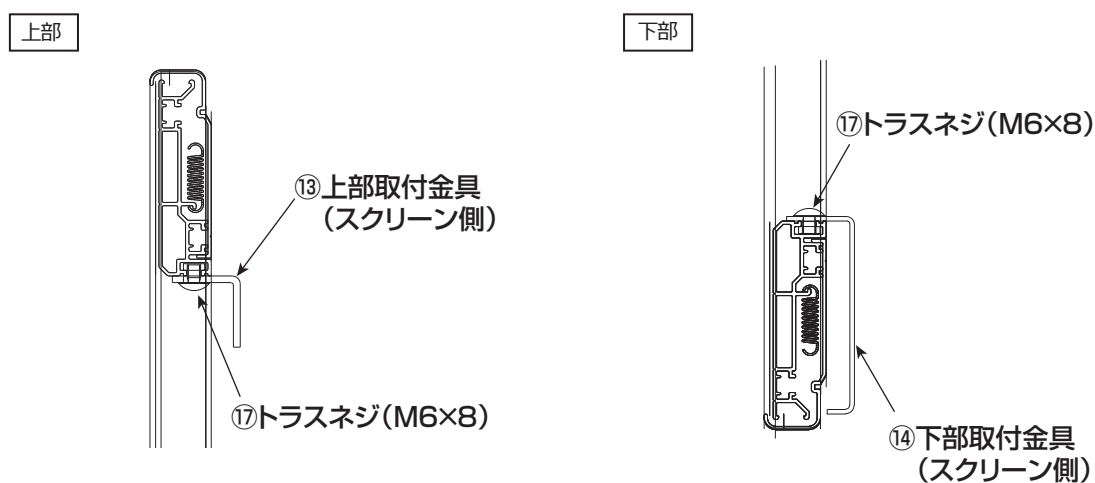
化粧フレームの取り付けができたなら四隅を下図のように付属の【⑩ボタンボルト（M6×8）】と【⑪ボタンボルト（M6×6）】を使用して固定します。



4. 壁面取付金具（スクリーン側）の取付

4-1

- ・上部アルミフレームに差し込んだ【⑫バーナット(4穴用)】に【⑬上部取付金具(スクリーン側)】2個を【⑰トラスネジ(M6×8)】で固定してください。
固定位置は壁面側取付金具とあわせてください。(次項参照)
- ・下部アルミフレームに差し込んだ【⑫バーナット(4穴用)】に【⑭下部取付金具(スクリーン側)】2個を【⑰トラスネジ(M6×8)】で固定してください。
固定位置は壁面側取付金具とあわせてください。





5. 壁面への金具及びスクリーン取付

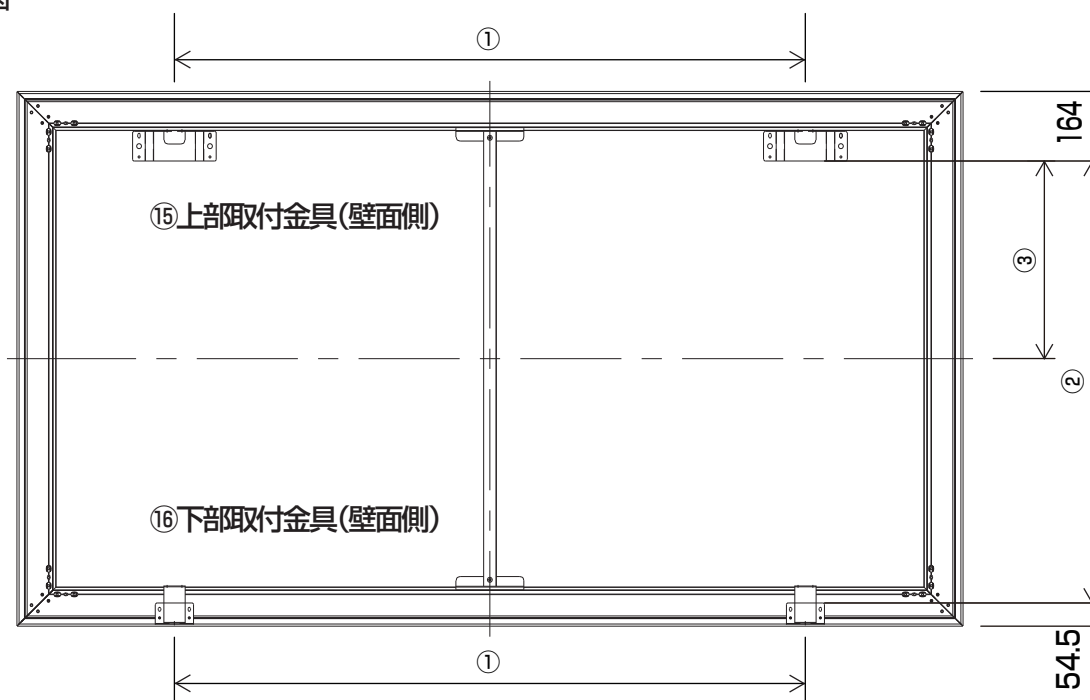
5-1

壁面に【⑮上部取付金具(壁面側)】と【⑯下部取付金具(壁面側)】を取付けます。
取付ピッチは各サイズにより異なりますので下記の図と表を参照してください。
但し、ワイド方向①は下地の関係で取りつかない場合は近い位置で取付けて下さい。

※壁面取付用のビスは付属しておりませんので、設置環境に応じたビスまたはアンカーをご用意ください。

  取付ける場所の強度を十分に確認し、しっかりと固定してください。
強度が不足していると落下の危険があります。

図



表

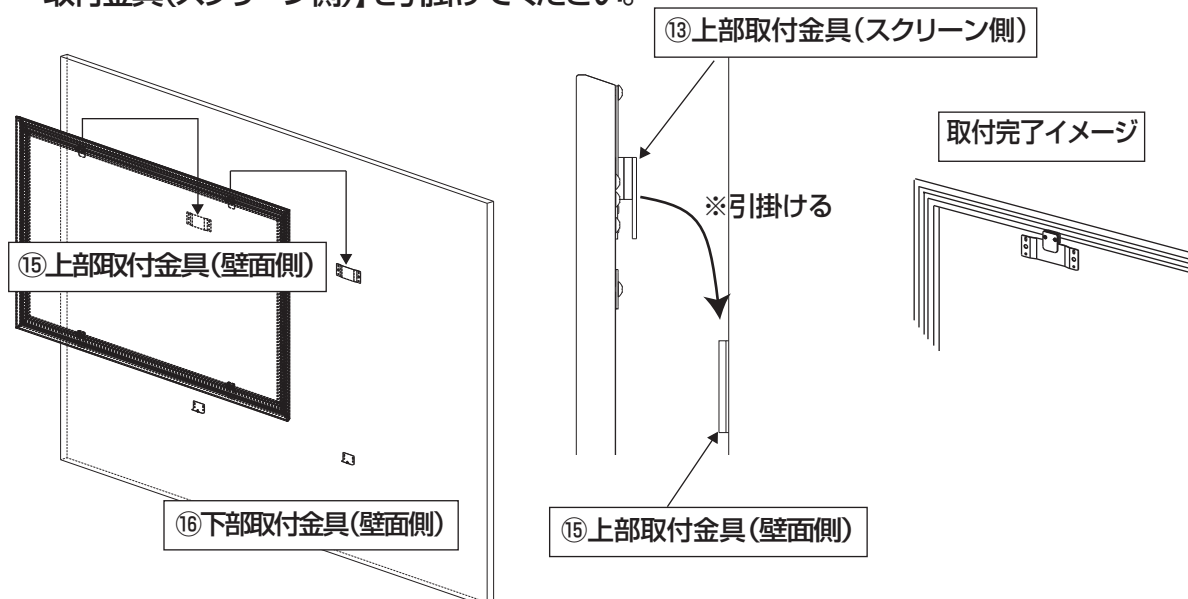
スクリーン サイズ	①	②	③
HD80	1195	792	341
HD100	1598	1041	465.5
HD120	1894	1290	590
WX80	1272	873	381.5
WX100	1558	1142	516

(単位：mm)

- ① (取付金具センター振分ピッチ)
- ② (⑮上部取付金具(壁面側) 下端⇄⑯下部取付金具(壁面側) 上端)
- ③ (スクリーンセンター⇄⑮上部取付金具(壁面側) 下端)

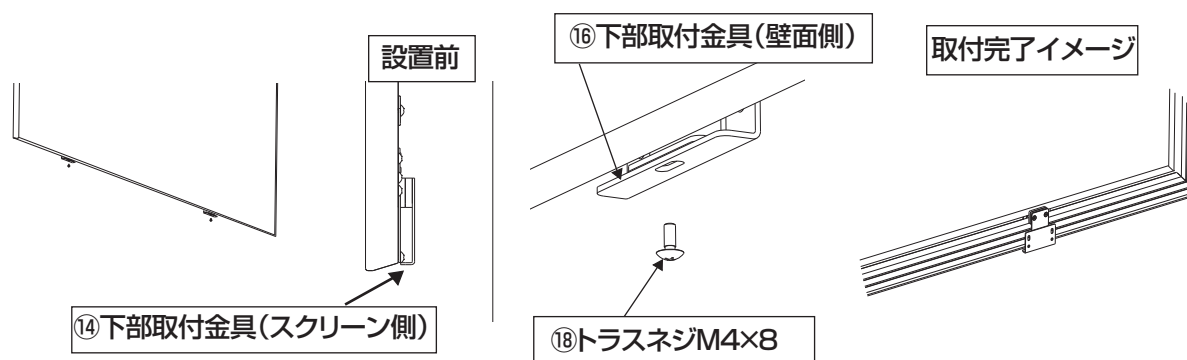
5-2

5-1で取付けた【⑮上部取付金具(壁面側)】にスクリーン背面の上部に取付けた【⑬上部取付金具(スクリーン側)】を引掛けてください。



5-3

上部の取付金具がしっかり掛かっていることが確認出来たら、【⑯下部取付金具(壁面側)】と【⑭下部取付金具(スクリーン側)】を【⑱トラスネジ(M4×8)】で固定してください。



保 証 書

品名・形式

パネルスクリーン DNUS

販売店

保証期間
ご購入日より

1年間

ご購入日

お 名 前

〒

ご 住 所

ご 連 絡 先

お客様



株式会社 ケイ アイ シー

〒160-0022 東京都新宿区新宿1-28-11

TEL. 03-3357-4839(代)

<https://www.kic-corp.co.jp>